北信濃里山通信　vol.7

2012年6月4日発行

紀行：「北信濃ギフチョウ・ヒメギフチョウ探訪記」

北信濃の里山を保全活用する会事務局　福本匡志

春は年1回のギフチョウ・ヒメギフチョウの発生シーズン・・・。
北信濃は両種の分布境界線（ルードルフィア・ライン）にかかっており、黒岩山のように混生地を抱える全国でも貴重なエリアです。最近、混生地では、ギフチョウが隆盛で、ヒメギフチョウが衰退しているようにも見えますが、今後、両種の発生を確認しながら、動向について注視する必要があります。
そんなことも考えながら本年５月、北信濃のギフチョウの産地を訪れ、その様子などを書き綴ってみました。

その１・斑尾山

斑尾山は信越トレイルの起点で、ここから東方の関田山脈沿いにギフチョウの産地が点在しています。当地はヒメギフチョウも生息し、北信濃の混生地で確実に両種が見られるのはここぐらいになってしまったようです･･･(黒岩山ではヒメギフチョウは稀)。
５月５日、当地に訪れた状況を以下に記します。

ギフチョウ

中野市（旧豊田村）涌井から斑尾山をめざす。天候は薄雲が広がる時間帯があるも、概ね晴れ。本年は残雪が多く、林道の一部はまだ雪に覆われ、途中から徒歩。登山口についたのは10時30分頃。そこで早速、羽化したてのギフチョウが出迎えてくれた（写真右）。

斑尾山への登山道

登山道はいきなり急登、しばらく尾根道を登ると、西側斜面から時折ギフチョウ（多分・・・）が飛び出してくる（写真左：ギフチョウに出会うには、山の尾根道を歩き、発生場所の谷筋斜面から上がってくる♂を待ち構えるのがポイント）。
観察しがてら、約１時間で山頂に到着、そこから西側の野尻湖方面へ向かう道へ下る。
小ピークとなっている展望台に至る。野尻湖が見渡せる眺望がすばらしい・・・(写真：下左)。
そこで、お目当てのヒメギフチョウに出会う。
ヒメギフチョウは、展望台小ピークを周回飛翔し、時折、縄張りを張っているヒオドシチョウに追い立てられるが、遠くへ飛び去る様子はなく、写真撮影のチャンス。止まっているところをカメラに納め（写真:下右)、今年初めて「春の女神サマ」に出会えたことを満喫。
その後、来た道を引き返し、斑尾山を後にする。
※この日の観察結果
ギフチョウ4頭
ヒメギフチョウ2頭
でした。

斑尾から野尻湖を遠望

ヒメギフチョウ

その２・戸狩スキー場・とんだいらゲレンデ

ここは、昨年、オオルリシジミ生息地創出・草地の経済的利用の検討も兼ね、カヤ刈りを実施したところです。以前、戸狩スキー場にもギフチョウが生息していることを聞いており、確認のため訪れました。以下・・・。

春の「とんだいら」風景

5月19日、戸狩スキー場民宿街から車で上がり、10時頃、とんだいらゲレンデへ。

まだ、至るところに雪が残っているが、当日は天候もよく、発生していそうな感じ・・・。

当地のギフチョウの具体的な情報は持ち合わせていなかったので、発生場所となりそうな、疎林となっている斜面があるゲレンデ脇を中心に散策する。

しばらく歩いた後、予想通り、疎林斜面からゲレンデへ飛び出すギフチョウを見つける。どうやら、そこは発生場所からの飛翔コースとなっているようで、ギフチョウたちが次から次へと舞い出てくる。

30分もたたないうち、10頭以上のギフチョウを観察、生態写真（以下）を撮影・・・。

残雪の合間を飛ぶギフチョウ
雪国の飯山ならではの風景です。

ひもテープの残骸にとまるギフチョウ
花と勘違い･･･青いものに惹かれます。

※当地のギフチョウ発生量は少なくないようです。今後の山の手入れによっては、さらなる好発生地になるのでは・・・と密かに期待しています。

その３・黒岩山

5月２０日、週末に開催される観察会の下見のため、黒岩山へギフチョウの発生状況の確認に出かけました。当日は晴れ、カタクリは満開状態で、ギフチョウも多数！観察できました。

ただし、ヒメギフチョウは確認できず、今後、黒岩山周辺を含めての調査の必要性を感じています。

カタクリの群落と吸蜜にきたギフチョウ

※来年以降も、北信濃のギフチョウ・ヒメギフチョウの調査を続け、できれば「北信濃ギフチョウ生息地マップ」を作成できればと考えます。

会員のみなさんにも御協力いただけましたら幸いです・・・。

お知らせなど

事務局

・オオルリシジミ・親子観察会

前号でお知らせした一般向けの観察会ですが、小学生など子どもたちを対象とした「親子観察会」として企画しました。現在、市内の小学校を通じ、参加者の呼びかけを行っているところです。会員のみなさんには、案内役・「にわか講師」として参加をお願いします。

日　時　：平成24年（2012年）6月17日及び6月24日（日）9:00～12:00
集合場所：飯山市公民館
持物など：観察用具（筆記具、カメラなど）、山歩きに適した服装、雨具など
申込など：６月８日（金）までに飯山市公民館へ
その他　：小雨決行ですが、中止すべきような悪天候が予想される場合は前日夕方までに連絡します。

※今回の「オオルリシジミ親子観察会」は、当会と長野県NPOセンターと日本NPOセンターの共催で、（株）損保ジャパンの協賛による「SAVE JAPANプロジェクト」の一環として実施します。

「SAVE JAPANプロジェクト」とは、地域の環境保全グループ、都道府県のNPOと損保ジャパンが一緒になり、「生きものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。

損保ジャパンのWeb約款から寄付を募り、保全活動に助成、市民参加型の屋外イベントを全国各地で開催しています。

「SAVE JAPANプロジェクト」ホームページ
http://savejapan-pj.net/
「SAVE JAPANプロジェクト」・当会紹介ページ
http://savejapan-pj.net/sj2012/nagano01/
長野県NPOセンター・ホームページ（観察会のお知らせ掲載）
http://www.npo-nagano.org/
「オオルリシジミ親子観察会」チラシ
http://www.npo-nagano.org/pdf2012/2012061724.pdf

オオルリシジミ当会員向け観察会・発生状況調査

本年2回目のオオルリシジミ会員向け観察会・発生状況調査を、6月10日（日）9:00～12:00で予定しています。飯山市公民館に午前9時集合としますので、参加を希望される方は飯山市公民館事務局（TEL：0269-62-3342）まで連絡ください。

当日は、翌週に開催される「親子観察会」に向けての環境整備（看板設置など）も行います。

※6月3日（日）に、会員の塩崎さんとともに発生状況調査を行い、成虫とおぼしき2頭を確認しましたが、発生はじめのようで（食草のクララも、まだ小さい！）、本格的な発生はこれからと思われます。

今年は残雪が多かったため、例年よりもオオルリシジミの発生は遅れており、6月半ば頃が発生ピークとなる見込みです。

・「かえるの学校」黒岩山・池の生きもの観察会

飯山市公民館・外様地区公民館の恒例行事となっている「かえるの学校」ですが、本年は６月23日（土）午前に開催します。

初夏の黒岩山を散策し（ギフチョウの幼虫も見られるかな・・・）、池では、モリアオガエルやクロサンショウウオの卵のほか、県絶滅危惧種となっているメススジゲンゴロウなど水生生物の観察を予定しています。

内容の詳細や参加を希望される方は飯山市公民館（TEL：0269-62-3342）または、外様地区公民館（TEL：0269-62-1029）までお問い合わせください。

活動報告など

事務局

・「雪国の里山の春」観察会と「オオルリシジミ生息地保護区設営作業」

5月26日（土）に長野県環境保全研究所と飯山市外様公民館の共催で開催した黒岩山山麓での「雪国の里山の春」・ギフチョウ観察会に当会員も含め、30名余りが参加しました。黒岩山保全協議会の田村さんに案内いただき、乱舞しているギフチョウを堪能、コシノカンアオイに産付された卵も確認できました。

最近、見られなくなっているヒメギフチョウは田村さんの懸賞付き（？）で、確認を呼びかけましたが、結局見つからず・・・残念。以後は幼虫調査を行いながら、探索を続けます。

田村さんによる黒岩山のギフチョウの解説

ギフチョウの卵

また、当日の午後は、オオルリシジミ生息地の保護区設営作業を実施、生息地入り口周辺に立ち入り制限を示すロープを設置しました。作業にあたられ会員の三井さん、花崎さん、清水さん、萩原さん、お疲れさまでした。

その後も、観察ルート整備（雑草刈り払い）看板設置など、観察会に向けて準備を進めているところです。

編集後記

事務局

オオルリシジミのシーズン突入で、観察会の準備やらに追われていますが、今年は「SAVE JAPANプロジェクト」の助成が受けられ、広報なども充実できそうで、当会のホームページも開設に向けて作業を進めています。プロジェクト支援にあたられている長野県NPOセンターの方々には、感謝いたします。

当会・保護増殖部会の田下さんが維持している増殖用のオオルリシジミの羽化が始まったようです。飯山のオオルリシジミの生息地は非常に狭い範囲で、絶滅する危険性は高く、将来的には近隣への生息域拡大を検討していく必要があると考えます。挿し木によるクララの増殖もメドがつきそうで、戸狩観光協会の方々も地域資源的活用をふまえ、関心をいただいています。

放蝶については、地区の方々の協力も不可欠で、学術的見地からも賛否両論ありそうですが、会員の方々からも御意見いただければと思います。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会　　会長　井田秀行
事務局：〒389-2253　　飯山市大字飯山１４３６－１
飯山市公民館内
TEL：0269-62-3342　　FAX：0269-62-5940
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp
編集者・事務局長：福本匡志